

# Opinions わたしの言 の提

ケアマネジャーは多忙を言い訳にはいけない  
利用者と家族を笑顔にすること  
それが私たちの役割と再認識すべき  
若宮邦彦さん（ソーシャルワーカー・ケアマネジャー）

介護保険制度が効果的に機能していくために  
ケアマネジメントの重要なキーマンとなるのがケアマネジャー。  
理想に燃えていたはずの彼らが疲弊して職場を去っていく一方で、  
利用者からのケアマネジャーへのクレームもあるようです。  
そのような現状を目の当たりにして、  
何とかしなければと考えている介護現場の人たちを代表して、  
地域包括支援センター主任ケアマネジャーでありソーシャルワーカーの  
若宮邦彦さんから厳しい一言！



わかみや・くにひこ

1963年生まれ。日本福祉大学大学院  
社会福祉学専攻博士前期課程修了。  
医療法人田中会武蔵ヶ丘病院ソーシャルワーカー、熊本市北3地域包括支援  
センター課管理者・主任ケアマネジャー、  
福岡教育大学、熊本看護専門学校など  
の非常勤講師。熊本学園大学大学院  
社会福祉学専攻博士後期課程在学中。  
編著に「こども家庭福祉のフロンティア」(晃洋書房)。

## 理想と現場とのギャップで 離職者が増加傾向

「ケアマネジャー」は、介護保険制度における要介護者の在宅ケアの中心であるケアマネジメントの担い手として誕生しました。資格保有者は全国で40万人を超え、今なお増加傾向にあります(2008年厚生

労働省調べ)。

「ケアマネジャー」は、介護保険制度における要介護者の在宅ケアの中心であるケアマネジメントの担い手として誕生しました。資格保有者は全国で40万人を超え、今なお増加傾向にあります(2008年厚生労働省調べ)。

健康状態の悪化も心配されました。しかし、近隣の住民やケアマネジャー、ボランティアが連携し、地道な支援が功を奏し、まさに孤独死寸前のところを団地の支援員に見えられ、救急車で緊急入院。重篤な病状でしたが、手助けを受け、症状も少しずつ回復してきました。

## ケアマネジャーの熱意が 地域を巻き込み一人の命を救う

一例を紹介します。その女性は経済的に困窮し、家族や地域との関係も途切れ、いわゆるゴミ屋敷で過ごしていました。民生委員や市の生活保護担当者の訪問も拒み、

健康状態の悪化も心配されました。しかし、近隣の住民やケアマネジャー、ボランティアが連携し、地道な支援が功を奏し、まさに孤独死寸前のところを団地の支援員に見えられ、救急車で緊急入院。重篤な病状でしたが、手助けを受け、症状も少しずつ回復してきました。

その後、居宅のケアマネジャーを中心に病院のスタッフと連携し、退院に向けての準備が始まりました。電気などライフラインの整備、自治会長や民生委員総出による大掃除。本人も外出訓練を行い、ケアマネジャーが本人の意思を尊重しながら一人暮らしを支えるケアプランを検討。近隣の住民やボランティアの見守り、声かけ支援など保険外のサービスも反映されました。

退院後に私がケアマネジャーと同行訪問した際には、本人はお化粧とおしゃれをしてまるで別人でした。入院前、私が医師と訪問した時に怒鳴りながら追い返したことがなほまったく記憶になかったのです。照れ笑いをしつつ、「皆さんの応援を受けながら、ここで暮らしていきたいです」と言いました。このケースを通じて真のケアマネジメントの力、地域の力を実感しました。

## 「したいこと」「できること」の間で 「しなければならぬこと」の間で

私も「したいこと」「できること」と「し

なければならぬこと」との葛藤にいつも頭を抱えています。しかし、プロのケアマネジャーは利用者さんに対し、「多忙」を言い訳にすることは許されません。また、「同居していないくせに」と、遠距離介護にあたっては「家族が嫌味を言われたり、不要なサービスを強要されたらなど、ケアマネジャー像をゆがんだものにしてしまうような報告も後を絶ちません。

えらそうな発言かもしれませんが、ソーシャルワーカーとして、介護に従事する者として、利用者さんやその家族の支援に尽力する仲間として、自らの役割と思いを改めて見つめ直す時期に来ているのではないのでしょうか。

私たちは人間が好きで、利用者さんの笑顔が好きで、この仕事をしているのではないのでしょうか。ケアや相談援助を通じて、ため息をついている利用者さんやその家族を笑顔にするのがわれわれの役割ではないのでしょうか。

「ベテランではなくプロフェッショナルを目指さないか」。私の恩師からの言葉です。私はこれからも、ため息を笑顔にできる手当て。実践するプロフェッショナルをめざしていきます。介護に携わるみなさん、共に利用者さんやその家族の笑顔を見つけないきましょう。